

日立物流がパッケージコンテスト3部門受賞

Edited By LogisticsToday On 2020/10/14

日立物流は14日、先頃行われた日本パッケージングコンテストで経済産業省製造産業局長賞、適正包装賞、大型・重量物包装部門賞のトリプル受賞をしたと発表した。

同社の「ワンウェイ段積治具」が製造産業局長賞、「新型サイクロン(掃除機)の適正包装」が適正包装賞、「アジャスター着脱式緩衝材」が大型・重量物包装部門賞をそれぞれ受賞した。



▲経済産業省製造産業局長賞を受賞した「ワンウェイ段積治具」(出所:日立物流)

なかでも製造産業局長賞は空間容積の縮小、簡易包装化や減量化など「特に包装の適正化に貢献している作品」に授与されるもので、コンテストの最高賞となるジャパンスター賞のひとつでもある同賞を日立物流が受賞したのは初めて。

この取り組みで同社は鋼材製よりも安価な強化段ボール製のワンウェイ段積治具を開発し、積載効率を従来比2倍、コストも従来比40%低減を実現した。異形状ユニットロードは平積み(非段積)しなければならず、コンテナ内の上部スペースにロスが生じていたほか、鋼材製の段積治具が高価でリターン運用が前提となり、再輸出・再輸入免税手続き、保管費用、盗難リスク、煩雑な運用管理などが課題だった。

Article printed from Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト : <http://www.logi-today.com>

URL to article : <http://www.logi-today.com/402568>

Copyright © 2020 Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト. All rights reserved.